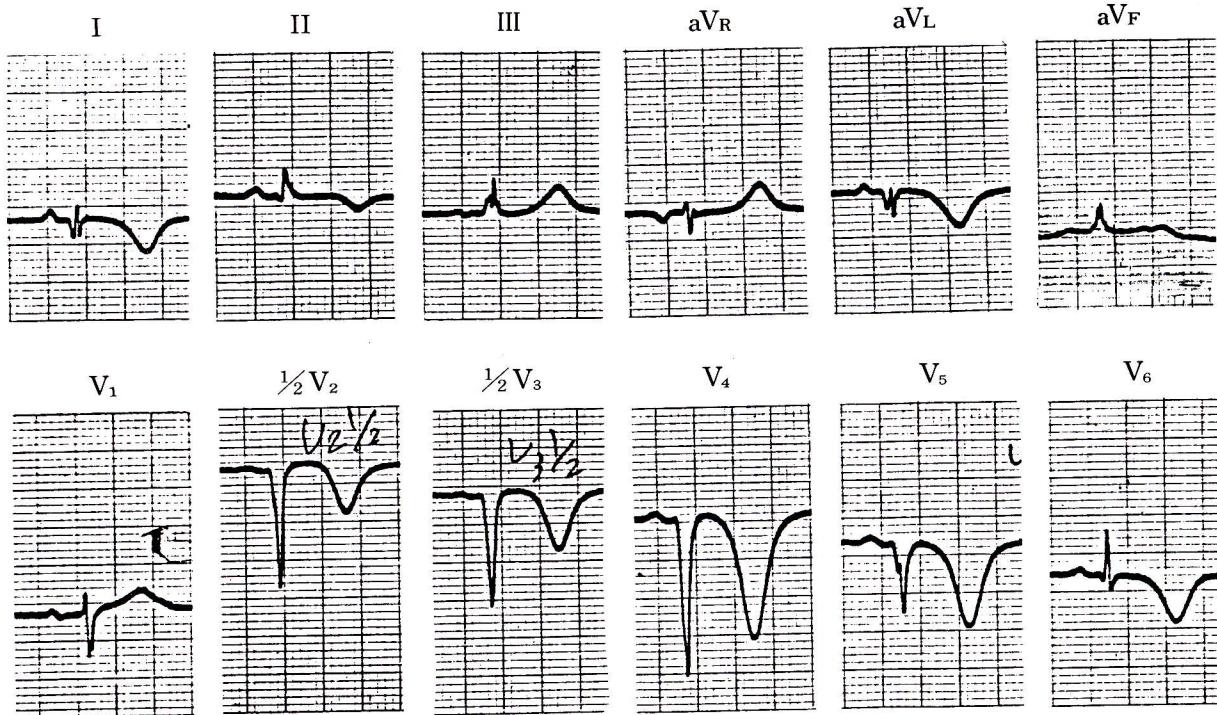


# 症例 38

● 72歳 男

- 1カ月前に胸痛を主訴に入院した。現在、自覚症状なし。



- 1) 心電図からみた梗塞発症の時期は1カ月前のエピソードと矛盾しないか。

## 前壁梗塞（亜急性期）

I, II, aVL に幅広い異常 Q 波, V<sub>2~5</sub> に QS パタンが見られるが ST 上昇はない。しかし、I, II, aVL, V<sub>2~6</sub> に左右対称形の深い陰性 T 波がみられる。これは冠性 T 波と呼ばれ, coronary accident に特有の所見である。すなわち、これ

らの所見は心筋梗塞亜急性期の特徴であり、1 カ月前のepisodeと矛盾しない。梗塞部位は前壁を中心に高位側壁にまで広がっていると考えられる。

## MEMO

### 〈梗塞心電図の時間的経過〉

90

梗塞心電図の特徴は、Q R S 波, ST 部分, T 波それが一定の時間関係をもって変化することにある。右図はその変化を図示したものである。症例によりかなりの時間的ばらつきはみられるが、T 波增高, ST 上昇, Q 波の出現, T 波の終末部陰転, ST 部分の等電位線への復帰, 冠性 T 波の順序をもって変化していく。1 カ月後以降は非常に緩徐ながら、冠性 T 波が陽性 T 波に変化していき、陳旧期に向かえるようになる。

